

「言葉で伝え合うことの難しさを考える」

〈この状況を見て、どう思いますか〉



待ち合わせ場所に相手が来ない！！

お互い、ちゃんと「駅前の入口」で待っているのに…なぜ？



〈二人が共通理解したこと〉

「駅前の入口で待ち合わせしましょう。」

図を見ると、お互い「駅前の入口で待ち合わせる」ことを理解し、行動しているのに出会えていません。それぞれ、困ったり苛立ったりしています。この後、出会うことができても互いを責めたり気まずくなったりする姿が想像できます。どちらも間違っていないのに、目的が達成されない…その上、関係性も悪くなる…とてももったいないと思います。

では、どうすればよかったですでしょうか。



自分のイメージを伝えたり相手のイメージを聞いたりするといいですね



図の駅前には、入口が二か所あります。「駅前の入口」という言葉を聞いて、二人はそれぞれ別の入口をイメージしたと推察します。そして、「相手も自分と同じイメージを持つだろう」と考え、確認をせずに待ち合わせ場所に向かったのではないのでしょうか。

この場合、「コンビニエンスストア側」や、「ビルに面している」など、情報を追加することで、「駅前の入口」という言葉を介してそれぞれが描くイメージはズレにくくなったと考えます。どっちの入口をイメージしているか、確認することも有効でした。

私たちは日ごろ、言葉（ここでは音声言語を指します）を使ってコミュニケーションをとることが多いですが、言葉を共有して描くイメージはそれぞれです。相手が自分と同じイメージを持つだろうと思い込んで行動することで、ズレたりすれ違ったりしてしまふことがあります。

子どもと教師、保護者と教師、家族同士、同僚…分かり合いたい、伝え合いたい、目的を共有して一緒に頑張りたい相手だからこそ、

私は今、相手に伝わるように伝えられているのだろうか
私は今、相手が伝えようとしていることを正しく理解できているのだろうか

と、振り返ったり、どのように伝わっているか確認したりすることが大切になると思います。

二学期が始まりました。慌ただしい中だからこそ、ズレにくいコミュニケーションを大切に、同じ方向を向いて取り組んでいけるといいですね。

